

桜区大久保・中央区西与野地区乗合タクシーの新規導入について

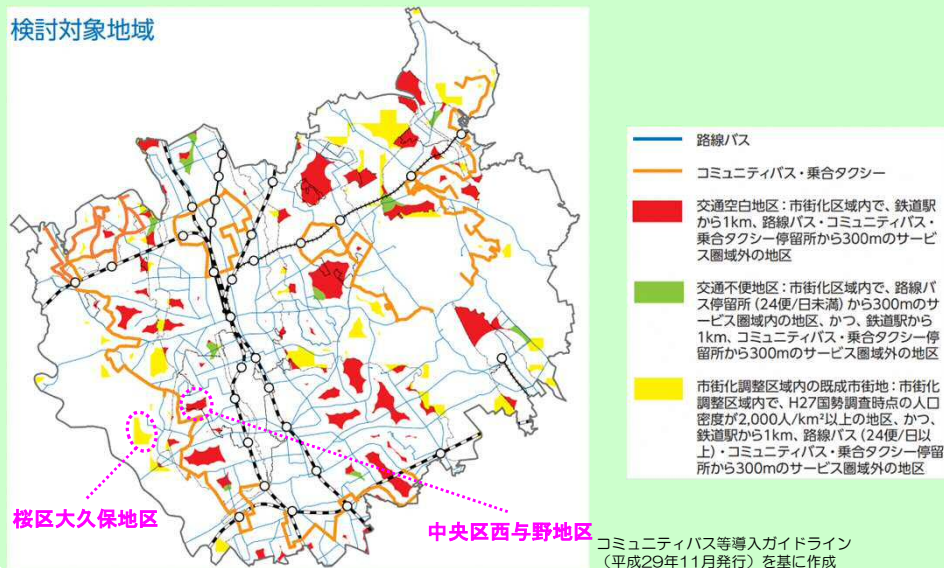
資料1

1. 導入検討地域について

○ 導入検討対象地域の位置

- 桜区大久保・中央区西与野地区には、交通空白地区および市街化調整区域内の既成市街地が含まれており、これらの解消を目指す。

検討対象地域



2. 地域組織について

○ 地域組織の要件

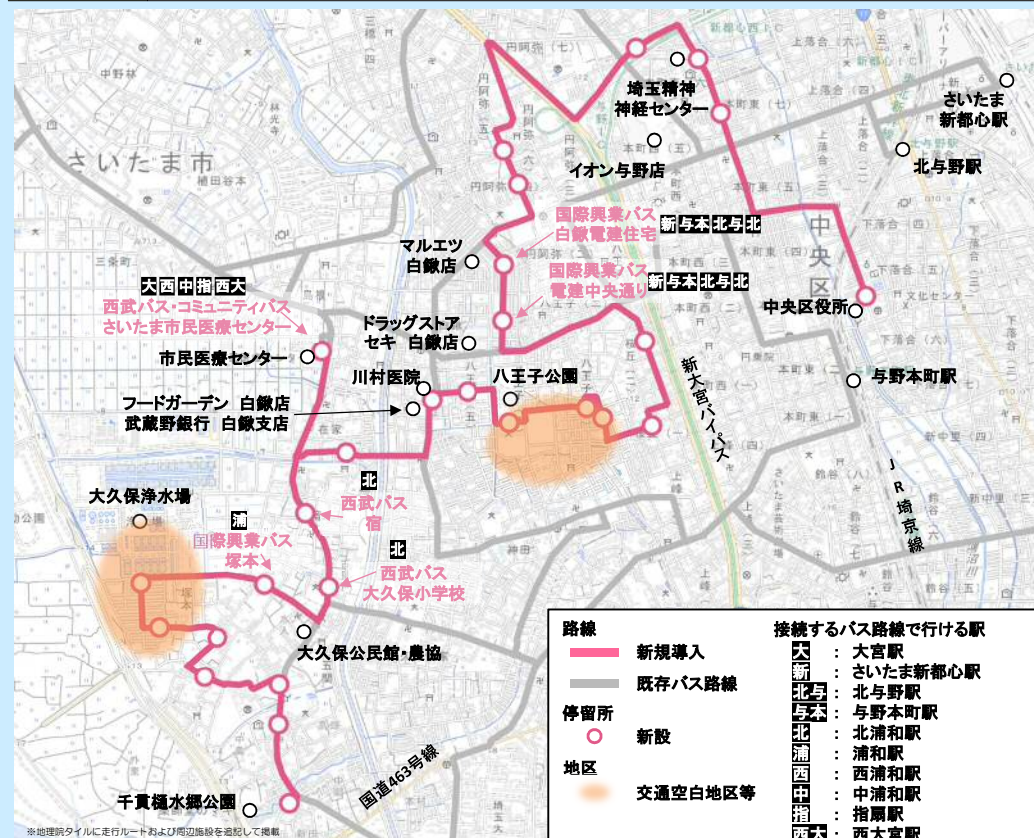
- 乗合タクシー導入に向けた地域組織が平成28年12月に設立されている。
- 沿線自治会の会長等で構成されており、地域住民と連携し、検討を進めるために必要な要件を満たしている。

| | |
|--------|---|
| 申請年月 | 平成28年12月 |
| 構成員 | 沿線自治会の会長ほか |
| 構成員数 | 12名で構成 |
| 沿線の自治会 | 桜区：五関自治会、下大久保自治会、塚本自治会、やつしまニュータウン自治会、宿自治会、在家自治会、白楯自治会 中央区：円阿弥自治会、八王子自治会、桜丘自治会、かやのき自治会、キララガーデン自治会 |

3. 運行計画について

- 検討対象地域(桜区大久保・中央区西与野地区)から、病院、商業施設等を選び、中央区役所へ至るルートであり、ガイドラインに示すコミュニティバス等のコンセプトに合致している。
- 運行内容は、下表の通り、ガイドラインに示すコミュニティバス等のサービス方針と合致している。

| | |
|------|---|
| 運行区間 | 千貫樋水郷公園⇄市民医療センター⇄中央区役所 |
| 運行日時 | 月曜日から金曜日までの平日7時台から18時台まで ※年末年始(12月29日から1月3日まで)、土・日、祝日は運行しない。 |
| 運行頻度 | 6便/日 |
| 車両 | ワンボックス車両(乗客定員：9人※1) ※1 運転手除く ※2 満車時は、予備車両として普通タクシーが運行。 |
| 運賃 | 300円/回 |



桜区大久保・中央区西与野地区乗合タクシーの新規導入について

4. 需要調査結果

(1) 収支率の試算

・収支試算の結果、収支率は34.5%となった。

※需要調査は、令和2年2月3日～16日の期間に、乗合タクシーの運行ルート(案)沿線300m地域に居住する15歳以上の方々(無作為抽出・郵送)1,500人を対象に実施した。
 ※結果、412人の回答が得られ、回収率は約27%であった。

○ 利用意向を踏まえた利用見込み人数

| 項目 | 数値 | 算出方法 |
|-------------------|--------|--|
| ①調査票配布数[人] | 1,500 | 需要調査結果 |
| ②利用すると回答[人] | 45 | |
| ③利用すると回答した方の割合[%] | 3.0% | ③ = 45 (②) ÷ 1,500 (①) |
| ④15歳以上沿線人口[人] | 57,973 | 住民基本台帳人口 (H31.1時点) |
| ⑤利用頻度[回/日・人] | 0.28 | 需要調査結果 (1.42[回/週] ÷ 5[日/週]) |
| ⑥利用見込み人数[人/日] | 47 | ⑥ = 0.03 (③) × 57,973 (④) × 0.28 (⑤) × 9.5% (補正率) ※補正率は乗合タクシー5地区の利用実績/利用見込み人数の平均値 |

| 項目 | 試算結果 | 算出方法 |
|---------------|------|--|
| ① 運賃収入 [万円/年] | 321 | 需要調査による利用見込み人数[47人/日] × 利用者の割引後平均支払い運賃[286.4円/人] ※1 × 運行日数見込み[239日/年] ※1 |
| ② 運行経費 [万円/年] | 929 | ○他地区実績に運行時間や走行距離の差を考慮して、人件費や燃料油脂費等の経費を試算 |
| ③ 収支率 [%] | 34.5 | ③ = ① ÷ ② × 100 |

※1 H30.12.3～R1.11.30和土地区実績に基づく。

※表内に示す数値表記は四捨五入した値であり、小数点以下を含み算定している。

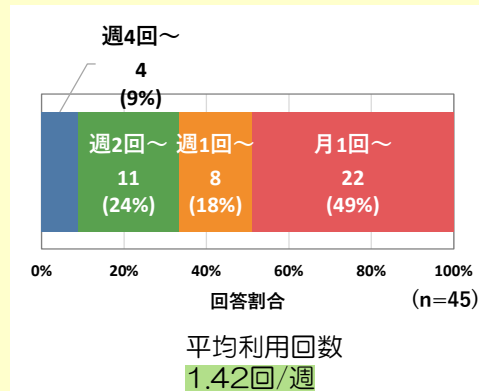
(2) 乗合タクシーの利用意向

- ・乗合タクシーを「利用する」と回答した人は約11%で、「将来的には利用する」とあわせて約24%を占める。
- ・「利用する」と回答した人の平均利用見込み回数は、1人当たり週に1.42回となった。

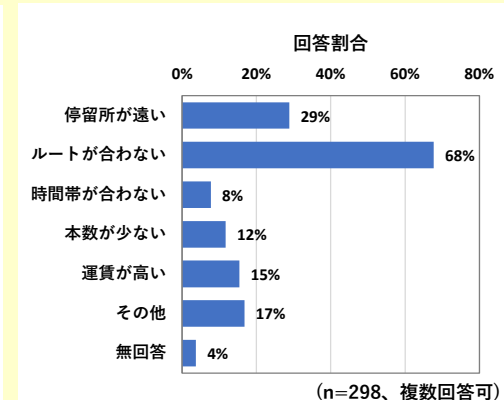
<利用意向>



<利用見込み回数>



<利用しないと回答した方の利用しない理由>



5. まとめと提案

- ・需要調査にもとづく収支率試算結果は34.5%と、ガイドラインに示す実証運行実施の基準である30%を満たしている。ただし、本格運行移行の要件は収支率40%であり、今後の利用促進活動が課題となる。
- ・道路の運行要件、関係機関との調整等のガイドラインのチェックポイントも確認済みである。
 - 『ステップ3実証運行の準備』に進みたい。